

### ピックアップ① ツアー・オブ・ジャパン5月30日開催



【ツアー・オブ・ジャパン】開催に向け、補正予算が計上されているが、他の開催地にはない、京田辺らしい魅力を発信できる企画を(企画調整担当課長) 府も

「お茶の京都」をからめて考えており、けいはんなプラザでイベントを開催するなど、マスコミへの発信にも努力している。本市の特性を打ち出せるようにしたい。

### 市の魅力発信と財源の確保は

【ふるさと京田辺応援寄付金】こむぎのふるさと納税だが、これまでの実績と増収の要因は。

(財政課長) 平成25年度が10件で約100万円、26年度が166件で約3000万円、27年度は1月末に356件の約450万円となっている。27年9月からクレジット納付を導入し、飛躍的に伸びている。

### 企業誘致

【企業誘致】財源確保のためには企業誘致が重要だが、大住工業専用地域の現状は。

(計画交通課長) 都市計画において、引き続き一般保留フレームとする位置付けに変わりはない。地権者との準備組合が一丸となって目的を

を創設するなど、情報を得やすく親しみやすい構成にしたい。「やさしい日本語」については、業者選定の中で参考にする。広報紙は「ほっと京田辺」という愛称も決定し4月号から採用する。また、お知らせ記事が読みにくいという声があったので、縦書きにしての面構成にするなど工夫をした。7月号からはフルカラーにするなど、さらに工夫していく。



まもなく開催されるツアー・オブ・ジャパン

共有し、周辺地域への治水対策説明など、積極的に進めていたが、市としても十分に関わっている」と認識している。

### お茶の京都DMO設立負担金

【お茶の京都DMO設立負担金】設立して何を行うのか。

(経済環境部副部長) 府南部地域の広域観光振興と、お茶を筆頭に地元農産物のPRなどを主な業務として、府が設立するもの。

### ホームページと広報紙

【ホームページと広報紙】リニューアルする内容は、また、「やさしい日本語」の採用を検討している。

(秘書広報課長) ホームページは、閉庁日に障がい者が起こった時にも対応できるようにし、災害情報提供の強化や、子育てに特化した特集ページ

を創設するなど、情報を得やすく親しみやすい構成にしたい。「やさしい日本語」については、業者選定の中で参考にする。広報紙は「ほっと京田辺」という愛称も決定し4月号から採用する。また、お知らせ記事が読みにくいという声があったので、縦書きにしての面構成にするなど工夫をした。7月号からはフルカラーにするなど、さらに工夫していく。

【地学連携推進費】現在力を入れている同志社大学の連携事業は。

(市民参画課長) 年間1000件以上の連携事業を実施しているが、27年度からは、まちづくり政策調査研究事業として、各部署から依頼があった研究テーマを政策学部に委託し、1〜2件のテーマを1年かけて調査研究していただきその成果を施策に生かす事業を行っている。

【中学校管理運営費】給食に関する検討委員会を、どのように進めるのか。

(教育部長) 今回の3月定例会で予算案が議決されたら、6月定例会に委員会の設置条例を上程し、開催に向けて進めたい。現在、課題整理をしている内容の論点を整理して委員会へ給食の実施も含めて検討していきたい。

【小学校教育助成費】「お茶育」事業でのような教育を行うのか。

### まちで育むこどもの教育

【情報教育推進費】電子黒板の設置理由と設置状況は。

(IT室・学校サポート室総括指導主事) 現在、68台を設置済みで、平成28年度は中学2年生の17教室に設置予定。大型テレビのリースアップを機に、切り替えていきたい。電子黒板は、子どもにも操作し

【国民健康保険税】所得の1割を占める税額は負担が大きいのでは。

(国民健康課長) 社会保険に比べると企業負担がない分、負担が大きいと認識しているが、医療費が増加する中、一般会計から多額の繰り入れをする中で、増税を回避している状況にある。

【病児・病後児保育事業】井手町、宇治田原町と共同化するという話は本当か。

(子育て支援課長) 本事業は平成31年までに各自自治体が実施しなければならない。本市は2カ所設置しているが、井手町、宇治田原町では十分な設置ができないと相談を受けている。本市の現状から、2カ所の定員にまた余裕があるため、協議を進めている。

### ピックアップ② 教育環境の充実・電子黒板設置など進む

【適応指導教室(ポットラック)】駅前サポートセンターに移転される。27年度に利用する子どもが大きく増加している理由は。

(IT室・学校サポート室総括指導主事) 本市は不登校が多いため、ポットラックを通じて学校復帰を目指す体制を強化した。完全復帰は難しいが、一部復帰につながった実績は出てきている。

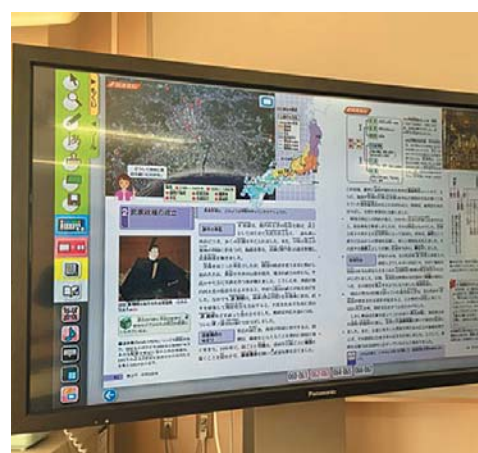
【民生費】特に医療扶助費は大幅な増額傾向にある。生活保護事業の現状と今後の動向は。

(社会福祉課長) 対象は約550世帯の8000人で、少し減少しているが、医療扶助費では約1億円の大幅増となっている。経済状況によって変動するが、この傾向は継続すると考えている。

【日常生用具給付等事業】給付対象が拡充された用具の内容は。

(障害福祉課長) 入浴補助用具や盲人用体重計、視覚障がい者用拡大読書器など10種を拡充し、1種を新規導入した。

【環境整備費】24年度に各校の各フロアに最低1カ所は洋式化した。全面洋式化は大規模改修時でなければ難しい。28年度に市が策定する公共施設総合管理計画に基づいて、学校施設の長寿命化計画を行っている。



教室に設置された電子黒板

### ますます増大する福祉施策への支出は

【民生費】特に医療扶助費は大幅な増額傾向にある。生活保護事業の現状と今後の動向は。

(社会福祉課長) 対象は約550世帯の8000人で、少し減少しているが、医療扶助費では約1億円の大幅増となっている。経済状況によって変動するが、この傾向は継続すると考えている。

【国民健康保険税】所得の1割を占める税額は負担が大きいのでは。

(国民健康課長) 社会保険に比べると企業負担がない分、負担が大きいと認識しているが、医療費が増加する中、一般会計から多額の繰り入れをする中で、増税を回避している状況にある。

【日常生用具給付等事業】給付対象が拡充された用具の内容は。

(障害福祉課長) 入浴補助用具や盲人用体重計、視覚障がい者用拡大読書器など10種を拡充し、1種を新規導入した。

【病児・病後児保育事業】井手町、宇治田原町と共同化するという話は本当か。

(子育て支援課長) 本事業は平成31年までに各自自治体が実施しなければならない。本市は2カ所設置しているが、井手町、宇治田原町では十分な設置ができないと相談を受けている。本市の現状から、2カ所の定員にまた余裕があるため、協議を進めている。

## 予算特別委員会 総括審査

### 審査を終えての会派別意見

## 一新会

### 自主財源の確保と産業振興を

平成28年度予算は、厳しい財政状況、雇用環境の中で過去最大の予算を組まれた。多くの事業や、コンパクトシティの実現など大きな事業を進めるためには、自主財源の確保が必須である。そのため、プロロセスに続く

企業誘致に向け、積極的に取組んでもらいたい。28年度は、産業振興ビジョンアクションプランのスタートの年である。農業、商業、工業、観光の各分野で、多くの協働により策定された。着実な成果を期待する。

また、市民生活に影響のある、粗大ごみ・持込ごみの有料化を図る年である。市民への丁寧な説明・啓発を経たの実施を望む。